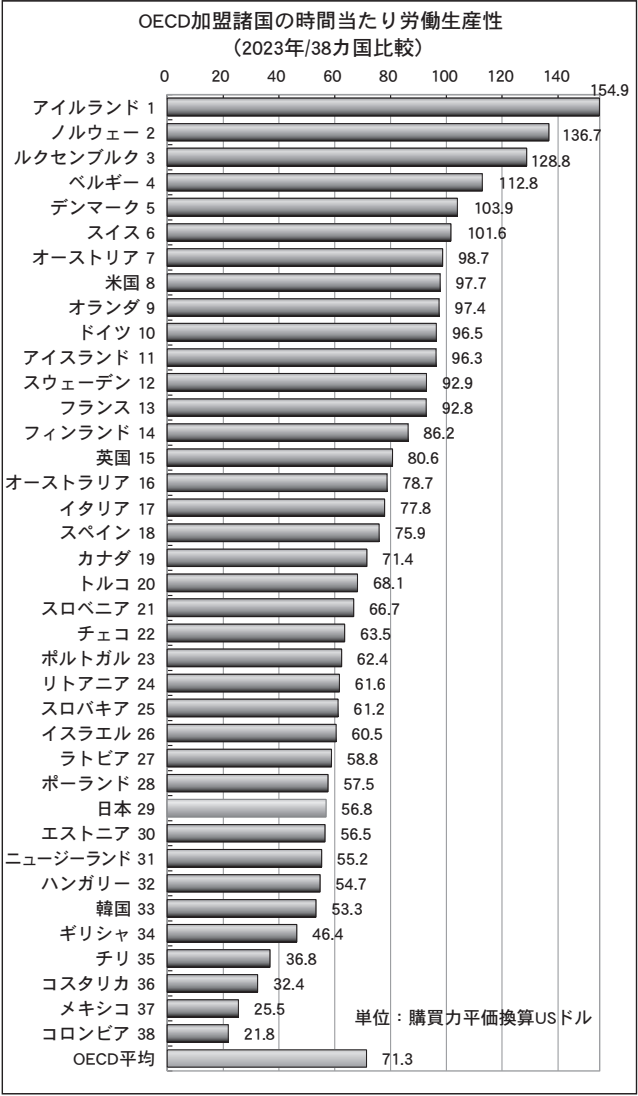


令和 8 年度学校推薦型選抜（公募制・提携校）・帰国生選抜・校友子女選抜・「小論文」

日本の労働生産性は国際的に見て高い水準ではない、という議論が存在します。図1, 2, 3を考慮したうえで、日本の労働生産性における課題について記述するとともに、解決に向けた自身の考えを800字以内で論じなさい。

（出典：「労働生産性の国際比較 2024 概要」公益財団法人 日本生産性本部）

図1 国際的にみた日本の時間当たり労働生産性



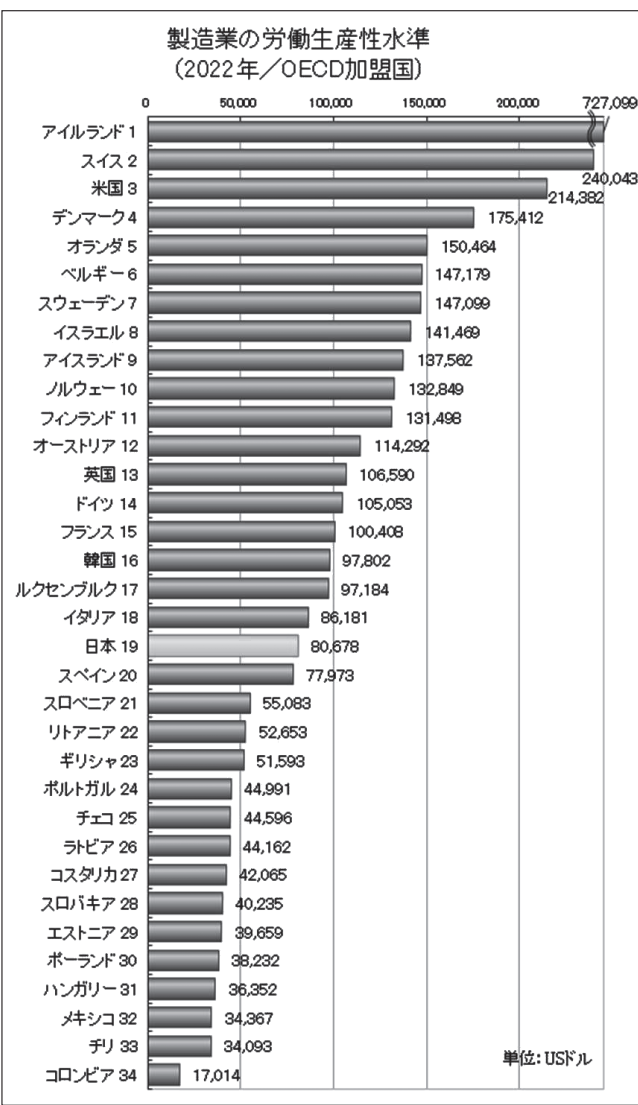
時間当たり労働生産性 上位10カ国の変遷

	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年	2023年
1	スイス	ルクセンブルク	ルクセンブルク	ルクセンブルク	ルクセンブルク	アイルランド	アイルランド
2	ルクセンブルク	スイス	ドイツ	ノルウェー	ノルウェー	ルクセンブルク	ノルウェー
3	米国	オランダ	ベルギー	ベルギー	米国	デンマーク	ルクセンブルク
4	スウェーデン	米国	オランダ	オランダ	アイルランド	ノルウェー	ベルギー
5	カナダ	スウェーデン	スイス	スウェーデン	ベルギー	ベルギー	デンマーク
6	オランダ	ベルギー	米国	米国	デンマーク	フランス	スイス
7	オーストラリア	ドイツ	フランス	フランス	オランダ	オーストリア	オーストリア
8	ベルギー	アイスランド	スウェーデン	ドイツ	スイス	スイス	米国
9	イタリア	カナダ	ノルウェー	スイス	スウェーデン	ドイツ	オランダ
10	デンマーク	イタリア	イタリア	デンマーク	フランス	米国	ドイツ
-	日本 (19位)	日本 (19位)	日本 (19位)	日本 (21位)	日本 (20位)	日本 (28位)	日本 (29位)

（資料）2024年11月時点でOECD等が公表していたデータに基づいて日本生産性本部作成。日本のGDPは、内閣府が12月9日公表の年次推計を反映している。1991年以前のドイツは西ドイツを指すことに留意されたい。

※円換算値は購買力平価レート(2023年：1\$＝94.68円)を用いているが、端数処理の関係で左記レートで求めた値と末尾が一致しないことがある。

図2 国際的にみた日本の製造業の労働生産性



製造業の労働生産性水準上位20カ国の変遷										
	2000年		2005年		2010年		2015年			
1	日本	86,894	アイルランド	149,456	アイルランド	203,893	アイルランド	467,095		
2	スイス	77,790	スイス	123,884	スイス	169,327	スイス	180,234		
3	アイルランド	75,679	米国	121,362	米国	159,344	米国	171,523		
4	スウェーデン	72,592	ノルウェー	108,844	ノルウェー	137,504	デンマーク	140,313		
5	フィンランド	70,948	オランダ	108,624	スウェーデン	129,171	スウェーデン	133,079		
6	ベルギー	65,037	フィンランド	105,588	デンマーク	124,171	ノルウェー	124,548		
7	オランダ	65,011	スウェーデン	104,213	オランダ	124,094	オランダ	123,402		
8	ルクセンブルク	61,548	ベルギー	101,699	ベルギー	120,302	ベルギー	122,607		
9	デンマーク	59,529	日本	94,120	フィンランド	118,551	オーストリア	107,138		
10	カナダ	59,418	英国	91,512	日本	117,522	英国	107,093		
11	英国	59,209	デンマーク	90,543	オーストリア	110,164	フィンランド	105,615		
12	ノルウェー	57,697	オーストリア	89,380	フランス	100,073	ルクセンブルク	105,303		
13	オーストリア	57,678	ルクセンブルク	86,686	ドイツ	96,713	イスラエル	99,359		
14	イスラエル	57,423	フランス	83,365	カナダ	96,187	フランス	99,026		
15	フランス	57,265	ドイツ	79,141	英国	95,871	カナダ	96,159		
16	ドイツ	52,224	カナダ	76,111	オーストラリア	91,551	ドイツ	95,725		
17	アイスランド	47,056	オーストラリア	68,686	アイスランド	91,066	日本	91,844		
18	イタリア	46,338	アイスランド	67,399	ルクセンブルク	87,268	アイスランド	90,759		
19	オーストラリア	39,953	イタリア	65,012	イスラエル	86,693	韓国	85,628		
20	スペイン	34,449	イスラエル	62,640	イタリア	75,981	オーストラリア	80,976		
	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
1	アイルランド	504,924	アイルランド	516,397	アイルランド	560,571	アイルランド	623,326	アイルランド	727,099
2	スイス	195,053	スイス	200,370	スイス	201,882	スイス	239,220	スイス	240,043
3	米国	182,596	米国	181,126	米国	181,487	米国	199,286	米国	214,382
4	デンマーク	155,263	デンマーク	161,979	デンマーク	160,824	デンマーク	171,354	デンマーク	175,412
5	オランダ	137,330	オランダ	136,337	オランダ	135,328	オランダ	150,044	オランダ	150,464
6	ベルギー	130,793	ベルギー	134,588	イスラエル	128,033	スウェーデン	146,429	ベルギー	147,179
7	スウェーデン	129,615	スウェーデン	129,121	ベルギー	127,573	イスラエル	129,437	スウェーデン	147,099
8	ノルウェー	121,273	ノルウェー	116,776	スウェーデン	127,474	ノルウェー	124,173	イスラエル	141,469
9	オーストリア	115,061	フィンランド	114,758	ノルウェー	116,590	フィンランド	123,654	アイスランド	137,562
10	フィンランド	114,675	イスラエル	114,137	フィンランド	115,409	ベルギー	123,442	ノルウェー	132,849
11	イスラエル	104,990	オーストリア	113,981	ルクセンブルク	110,126	ルクセンブルク	117,923	フィンランド	131,498
12	フランス	102,239	ルクセンブルク	106,351	オーストリア	107,734	アイスランド	117,760	オーストリア	114,292
13	ルクセンブルク	102,112	フランス	101,578	英国	99,179	オーストリア	116,313	英国	106,590
14	ドイツ	101,574	ドイツ	100,412	カナダ	98,429	英国	107,935	ドイツ	105,053
15	韓国	99,736	英国	99,880	アイスランド	97,268	ドイツ	104,556	フランス	100,408
16	カナダ	98,013	アイスランド	96,364	ドイツ	97,141	韓国	102,009	韓国	97,802
17	英国	97,911	日本	95,941	日本	94,717	日本	96,452	ルクセンブルク	97,184
18	アイスランド	97,843	韓国	95,069	韓国	94,137	フランス	95,781	イタリア	86,181
19	日本	96,439	カナダ	93,765	フランス	91,181	イタリア	84,311	日本	80,678
20	ニュージーランド	81,345	ニュージーランド	81,182	ニュージーランド	79,245	ニュージーランド	82,890	スペイン	77,973

(単位) USドル (加重移動平均した為替レートにより換算)。今回の手法で算出した2022年の対ドルレートは128.31円。

図3 労働生産性とは

労働者一人当たり，あるいは労働者が1時間働くことで生み出す成果を指標化したもの。


$$\text{労働生産性} = \frac{\text{output} \quad (\text{付加価値額または生産量など})}{\text{input} \quad (\text{労働投入量〔労働者数または労働者数} \times \text{労働時間〕})}$$


※労働者がどれだけ効率的に成果を生み出したかを定量的に数値化したものであり，労働者の能力向上や効率改善に向けた努力，経営効率の改善などによって向上します。労働生産性の向上は，経済成長や経済的な豊かさをもたらす要因とみなされています。